

発 言 通 告 書

令和 8 年 2 月 20 日

松山市議会議員 原 俊 司 殿

松山市議会議員 土井田 学

次のとおり通告します。

発言順位	5	受領日時	2 月 20 日 午前・ <b>午後</b>	5 時 10 分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	<b>一問一答方式</b>		・ 一括方式	発言時間	約 80 分
答弁を求める者	・ <b>市長</b> ・ <b>教育長</b> ・農業委員会会長		・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長 ・公営企業管理者	

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	重要案件の進捗状況について	(1) 少子化問題と子どもの居場所づくりについて ① 人口減少及び少子化問題は、本市の最重要・最優先課題であるという認識の是非と、他に優先する課題の有無について ② ふるさと松山を次世代に引き継ぐ市長の使命について ③ 箱物行政の見直しと、子育て世代の減税、中学校の給食無償化など、市民ニーズに応じた対策について (2) 湧水問題の現状と今後の対応について ① 市長在任期間の大半を西条分水にこだわり、湧水問題未解決、市民にとり失われた 16 年となったことへの見解を問う。 ② 未解決の湧水問題を 11 月改選後の市長に託すべきについて (3) 多くの市民が実感できるまちづくりについて ① 市長就任から令和 8 年度まででまちづくりの担当課が予算化したまちづくり 5 事業の事業費を地区別に累計し、中島を中心とする忽那諸島、北条、三津浜の 3 地区と、人口が多い 3 地区、投入額が少ない 3 地区について ② サブセンターゾーンの呪縛を解き、地域の魅力を引き出し、市民が楽しさなどを実感できるまちづくりの取組について
2	市民が主役の市政運営と情報共有について	(1) 土砂災害の対応と後世への伝承について ① 政令指定都市と人口 45 万人以上の中核市で、記者会見での市長と記者とのやり取りをホームページで公表している都市数と公表率について ② 災害発生前に松山城北側の土砂崩れ対策を早期に実施する必要性の有無について ③ 被害に遭った 3 軒の跡地を買収する約束の現状と、購入後、慰霊碑を建立し、災害が風化しないよう後世に伝えていく見解について (2) 消費拡大と地域経済の活性化について

No	件 名	発 言 の 要 旨
		①過去 10 年の、担当課が中央商店街の活性化名目で実施した全ての事業の決算の累計額について
		また、市長就任当時と現在における銀天街の空き店舗数、空き店舗率、増減状況について
		②本市独自の減税制度を立ち上げ、個人・法人から徴収の市民税減税への取組について
3	市長の政治姿勢について	(1) 懲戒免職処分と適正な判断について
		①当該職員が不正行為を認めてから処分発令までの 4 日間で行った事実確認の方法と、懲戒免職処分とした職員の行為内容、市の懲戒処分基準の該当箇所について
		②不正行為が極めて重大で、本市の信用を失墜させた令和 6 年 3 月処分のセクハラ事案が停職 2 カ月、今回は即決の懲戒免職と、処分内容に大きな差のある理由について
		③今回の処分の撤回と当該職員の復職、改めて再調査後の相応の懲戒処分の実施について
		(2) 四国新幹線と地域交通について
		①整備により、1 兆円超の経済効果が発生し、未来の子どもたちにとり負の遺産でなく、プラス資産になるという市長の見解について
		②新幹線効果を生かすため、アリーナ整備を中止し、駅前再開発も一旦凍結、市民に愛される整備を目指し、改選後に取り組むべきについて
		③新幹線整備から距離を置き、浮いた予算で市民生活を守るため、公共交通の運賃値下げ、郊外バスの便数、路線の充実などへの対策について
		(3) 知事発言と出馬意向について
		①中村知事の松山市に対するまちづくりへの懸念、土砂災害の対応に関する批判、JR 松山駅周辺整備への苦言等は全て正しく、市長対応に非があったという認識の有無について
		②野志市長の 5 期目の出馬意向について